

情報化施工モーターグレーダー

精度と施工効率向上

スリップ防止機能を搭載

大成ロテック

大成ロテックは、作業時のスリップ防止機能を搭載した情報化施工モーターグレーダーを、自社施工の工事に適用した。路盤材の敷きならし作業で、経験の少ないオペレーターでも熟練者並みの仕上げ精度が可能になり、施工効率が大幅に向上したという。今後も積極的に最新の装置やシステムを取り入れる方針。情報化施工技術を活用した技術革新により、品質や作業効率の向上を目指す。

新技術は、西日本高速道路会社が発注した「阪和自動車道 和歌山南スマート

インターチェンジ舗装工事」に適用した。これまで作業装置に過大な負荷がかかった場合、オペレーター



現場での施工の様子

が手動で操作して、負荷を軽減させていた。走行装置がスリップすると路盤面が荒れてしまったため、もう一度敷きならし作業をする必要があった。こうした背景から自動制御の活用は、仕上げ敷きならしのような比較的負荷の少ない作業にとどまっていた。

新システムは、作業装置や走行装置への負荷、タイヤのスリップを検出するセンサーを活用。作業中に負荷やスリップの値が設定値以上になった場合、作業装置を自動上昇させて負荷を軽減し、スリップを回避す

る。スリップ防止を実現させたことで、情報化施工による自動制御作業を連続的に行うことが可能となり、作業効率をさらに高めた。施工面を荒らすことなく作業できるため、品質の向上にもつながっている。